

第11回北九州市安全・安心推進会議の主な意見

	意見	回答・主な関連事業
1	<p>他地域の人に北九州市の印象を尋ねると、まだ印象が悪いと思っているようだが、安全・安心の情報発信について、どのような取り組みをしているのか。</p>	<p>北九州市の治安の良さについて、安全・安心PRイベントや、新聞や情報誌等の各種メディアを活用して、市外に対してアピールし、都市イメージの向上を図っている。引き続き、あらゆる機会や媒体を活用し、効果的な情報発信を行う。</p> <p>【主な関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市イメージの向上（P8、P40） ・安全・安心情報発信（P8、P41）
2	<p>安全に配慮した環境の整備について、年々意識が薄れてきていると思う。「犯罪の機会を減らす」ということで、知恵を使って犯罪が起きにくい環境を市全体に広げていくことが大切である。</p> <p>精度の良い防犯カメラの設置をお願いしたい。</p>	<p>現在は、カメラの精度も上がってきている。予算の許す限り、関係者と相談しながら防犯カメラを設置している。引き続き防犯カメラの普及に向けた取組を推進する。</p> <p>【主な関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの普及促進に向けた取組の推進（P6、P33） ・防犯灯関連事業（P6、P33）
3	<p>工藤會の構成員の卵は、非行少年だということで、協力雇用主として非行少年に対する取り組みを行ってきたが、このように暴力団の排除が進んできたことは素晴らしいことである。</p> <p>更生を支援するには、行政の力が必要と考えるため、今後も協力をお願いしたい。</p>	<p>暴力団離脱者の社会復帰には行政や関係団体の協力が不可欠である。人もお金の無尽蔵にあるわけではないため、これからも知恵を絞って取り組んでいきたい。</p> <p>【主な関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力雇用主と連携した就労支援（P7、P35、P51） ・元暴力団員の社会復帰対策推進事業（P22、P29、P38）

4	<p>能登半島地震について、避難所の運営は普段から準備をしている避難所の運営は円滑だったが、準備をしていない地域は、うまく対応できなかったようだ。普段から準備をすることが大切だと思った。</p>	<p>避難所の運営等については、日ごろからの準備が重要である。コロナ禍が明け、集合訓練を再開しており、今後も取組を推進していく。</p> <p>【主な関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施（P27） ・防災拠点の整備（P39）
5	<p>公園愛護会は、地域の住民の高齢化により、活動が困難な部分がある。若い人の活動参加を推進するために、行政の力が必要だと思う。</p> <p>公園の管理について、金沢市では指定管理制度により主要な公園の管理がされている。北九州市の公園愛護会も素晴らしい制度だが、プロの力も活用し、行政が支援していくといった組み合わせも必要かもしれない。</p>	<p>公園愛護会について、地域の方の高齢化により継続が困難であるという現状は認識している。現在、地域周辺の民間企業やNPOができないかと検討しているところである。</p> <p>また、指定管理については、大きな費用がかかることもあり、公園愛護会をいかに継続していけるかに注力していきたいと考えている。</p> <p>公園整備については、安全・安心な公園となるよう、地域の声を聴きながら整備しているところである。予算の関係上、全ての公園で遊具の配置転換や植栽の整備を行えているわけではなく、できるところから取り組んでいく。</p> <p>【主な関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー等の公園づくり（P33）